

令和6年度上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

- 日 時** 令和6年9月26日（木）午後1時30分から午後2時40分まで
- 場 所** 上市町役場 4階大ホール
- 出席者** 井上委員、岡崎委員、小柴委員、瀬川委員、田中委員、中田委員、野越委員、平井潤委員、堀田委員、前原委員、村上委員、山崎委員、湯上委員（代理 風間様）、吉田委員
- 欠席者** 島田委員、日野委員、平井敏委員、藤田委員、三輪委員、横山委員
- 事務局** 小竹副町長、牧田教育長、小池総務課長、碓井企画課長、黒田財務課長、轡田町民課長、黒田福祉課長、酒井産業課長、新開建設課長、柳瀬会計管理者、廣田かみいち総合病院事務局長、平井教育委員会事務局長
【庶務】企画課企画班：青木課長代理、嘉藤課長代理、杉本主事
- 傍聴者** 2名（報道関係者）北日本新聞、富山新聞
- 次 第**
- 1 開会
 - 2 あいさつ（上市町副町長 小竹 敏弘）
 - 3 会長及び副会長の選任
 - 4 審議
 - (1) 第8次総合計画及び第2期総合戦略の進捗状況について
 - (2) 総合戦略への具体的な事業の見直しについて
 - (3) 上市町SDGs推進事業について
 - (4) 審議委員から町への意見・要望等
 - 5 その他 上市町第8次総合計画後期基本計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
 - 6 閉会

事前配付資料

- ・委員（出席者）名簿 ・座席表 ・ご意見等連絡用紙
- ・資料1 第8次上市町総合計画及び第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況報告書
- ・資料2-1 第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略の具体的な事業の見直しについて
- ・資料2-2（総合戦略修正ページ抜粋）
- ・資料2-3（総合計画修正ページ抜粋）
- ・資料2-4 こども家庭センターの設置
- ・資料2-5 上市中学校課外活動応援プロジェクト
- ・資料2-6 地域と暮らしへのデジタル実装事業
- ・資料2-7 人口減少対策プロジェクト
- ・資料3 上市町SDGs推進事業
- ・資料4 上市町第8次総合計画後期基本計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

議事等

1 開会、あいさつ、会長及び副会長の選任

審議委員 14 名が出席した。司会者の企画課長が開会を宣言し、本年度の審議会委員の選定方法と委嘱状交付に関する説明を行った。なお、委員の紹介は所属団体の役員交代によって昨年度から変更のあった次の 4 名（欠席者を含む）に省略した。

- ・ 富山信用金庫上市営業部長 岡崎 光留 委員（第 4 号委員）
- ・ 上市町働く婦人の家友の会長 田中 渉 委員（第 2 号委員）
- ・ 上市町区長協議会長 村上 達夫 委員（第 2 号委員）
- ・ 上市町スポーツ協会会長 横山 正一 委員（第 2 号委員）

副町長があいさつを述べ、第 8 次総合計画及び第 2 期総合戦略を進めている現状や本審議会での審議事項の概要について説明し、審議委員へ忌憚りの無い意見を求めた。

司会者が、会長の選任について意見を募ったが特になかったため、昨年度に引き続き上市町公民館連絡協議会長の山崎委員を会長とする案を事務局が提案し、出席委員に了解を求め、了承された。

山崎会長は、上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の設置及び運営に関する条例（平成 2 年 3 月 26 日条例第 2 号）第 5 条第 4 項に基づき、副会長に上市町区長協議会長の村上委員を指名し、同条例第 6 条第 1 項に基づき、議長となって議事を進行した。

2 審議事項(1) 第 8 次総合計画及び第 2 期総合戦略の進捗状況について

議長は、審議事項(1)について事務局に説明を求めた。

事務局は、配付資料 1 に基づき、第 8 次総合計画及び第 2 期総合戦略の進捗状況を説明した。

議長が、以上の説明についての質疑を審議委員に確認したところ、次のとおり質疑応答があった。

<質疑応答>

委員 まず、正月に地震があり、そしてまた豪雨があつて、能登半島の方達はもっと本当にご悲惨な思い、苦しい思いをしておられると思いますが、いつどこで災害が起きるかわからないような状況になっていますので、上市町でも線状降水帯などが留まった場合、それこそ川が氾濫して大変なことになると思いますが、その時の町の防災の取り組みがどうなっているのか、また、各地域でその避難場所等、皆さんにきちんと周知しておられるのかなど、色々な事が心配になってきております。そこで、上市町の地域防災計画や取り組みはどのようになっているのか教えていただきたい。また、会社では毎年決まって防火訓練や防災訓練を消防署の方の立ち入りのもとにやっていますが、各町内で防災・自主防災って書いてありますけれども、周りではやっておられるのはあまり聞いたことがなく、訓練というのは本当に必要なことだと思いますので、そのあたりを町で積極的に、町民の命を守るための計画などがあればいいのではないかと思います。

事務局 近年豪雨災害などがありまして、上市町でも昨年度は6月7月に避難所を開設するほどの豪雨、今年度につきましては8月25日に種の方で時間雨量146ミリという豪雨がありまして、山間部で土砂崩れが起きるなどの被災が発生しております。基本的には気象庁の警報が出た段階で、担当職員が登庁して、気象庁や県のシステムを見ながら、雨の状況、河川の水位や状況を確認し、消防団の方にも直接見回りなどしてもらいまして、危険な状況になれば避難所を開設するという手配・やり方をとっております。そして避難所を開設する場合は、最近スマートフォンを皆さん持っておられますので、エリアメールでお知らせする、またはホームページ、その他防災行政無線も活用して避難を指示するという形にしています。最近の状況によっては必ずしも外への避難ではなく、特に夜間や外での避難が危ないという場合は、例えば垂直避難として家の二階ですとか、そういった避難のやり方もあるということ、ホームページ等で周知させていただいております。

それと当町の防災訓練であります、地区別に毎年行っております。昨年が大岩・柿沢地区、今年度は宮川地区で防災訓練を予定しており、各町内会の方は宮川小学校にまず集まっておいただくように町内の方の避難から始まりまして、会場では土嚢や消火器、AEDの使い方などの訓練も、毎年実施しています。また、最近では段ボールベッドの組み立て、今年度考えておりますのは簡易トイレの組み立てなどを想定しております。

各町内に自主防災会がありますが、自主防災会でこういった訓練をする場合は、毎年1回訓練助成として2万円、今年度から見直した内容として、参加者が50人以上の場合は4万円の活動助成をさせていただいており、確か昨年は20から30の町内会の実績があったかと思います。その時に消防や町から行くなどしておりまして、そのようなご相談があれば、自主防災会を通してお知らせしておりますので、利用していただければと思います。

委員 先日、北信越の校長会が石川の金沢で開催され、「本当にやってきた」というタイトルで地震のことをお話しされました。地震が起きた時に、高校は基本的には避難所になっていないんです。ところが多くの方が押し寄せて、そしてガラスを割って校内に入り、しばらく被災された方がいらっしゃったと。中には本当に長くおられたっていう方もいらっしゃるんですけど、行き場所がなくてという実情もあると。もう見るも無残な、鉄筋コンクリートも校舎も見事に基礎からえぐられてしまったとか、体育館自体がもう使えなくなるとか、当然職員も被災している、計画通りにいかないっていうことを聞きました。特に大変だったのはトイレ。飲食しなくても3時間で出るということで、8時間ではもうほとんど全員がトイレしたくなる。水はない電気はないという、そういった状態をお聞きしました。

そういう話を聞いて、本校ではすぐに何ができるのかなと思うと、もちろん机上では用意してあるんですけども、実際本当にこれが動くのかなということがすごく心配で、我々は富山県立なので体育施設開放事業というのがあって、そういう方に学校を開放しているので、まず鍵を開ける役割を担ってもらえるよう春先をお願いしておりまして、上市町から勤務している新たな教員の方にも、必ずとは言えないけれども一番に来て学校を開けてくれるような役割を担ってくれとお願いしています。そういったことで、上市町に住んでらっしゃる方、上市町だけでは十分できないことでも、我々は少しずつ補完していきたいなと思っておりますので、防災計画の会議等がありましたら本校も指名させていただいて、その席で今後どうやっていくかという話を参画させていただければと思っています。

委員 今の話は地震があつて雨が降ったと。ところが上市は、魚津断層が上市から魚津へ向かっている。呉羽山断層や跡津川断層もあります。上市町のハザードマップでは洪水マップがありますが、対地震用のマップがないですね。作りにくいとは思いますが、上市も能登と同じように、地震と大雨の可能性はないということはないのですね。ですから町に、有識者、例えば富山大学の竹内先生や富山県の防災センターの方などに、地震に対するハザードマップを作っていただくようなことをお願いしたいなという思いがあります。

それとお願いしたいことがありまして、11月17日が宮川地区の自主防災訓練です。これは日曜日ですが、災害は休みの時に来るだけではないし、会社がやっているうちにくる可能性がありますので、もしよろしければ、今度時間を案内しますので、全部とは言えませんが、会社の方も少数でも参加していただければありがたいなという思いがあります。

3 審議事項(2) 総合戦略への具体的な事業の見直し等について

議長は、審議事項(2)について事務局に説明を求めた。

事務局は、配付資料2-1から資料2-7により、総合戦略の重点施策へ新たに追加する具体的な事業と廃止する事業、重要業績評価指標（KPI）の訂正、総合計画の事業の追加及び廃止内容を説明した。

議長が、以上の説明についての質疑を審議委員に確認したところ意見なしであった。

4 審議事項(3) 上市町SDGs推進事業について

議長は、審議事項(3)について事務局に説明を求めた。

事務局は、配付資料3により、上市町SDGs推進事業について報告事項を説明した。

議長が、以上の説明についての質疑を審議委員に確認したところ意見なしであった。

5 審議事項(4) 審議委員から町への意見・要望等について

議長は、審議事項(4)として審議委員へ町への意見・要望等の発言を求めたところ、次のとおり意見があった。

<審議委員からの意見>

委員 本当は本審議会委員の立場でお話しした方が良いでしょうけど、私は地球温暖化防止活動推進委員もやっておりまして、先日、宮川小学校で環境に関する授業を担当させていただきました。今お話しがあったゼロカーボンシティは、温室効果ガス削減についての非常に良い取り組みだと思って拝見しておりました。そこで、資料1の5ページ、「にぎわう2 基盤整備」「2-4 環境の保全」で温室効果ガスの削減率がすごく減っていますが、どうやって数字が出ているのでしょうか。企業さんとの調整過程で全部数字が出ているのかなと思うのですが、どうやって出ているのか教えて欲しいです。

それに関連して授業に行った際に、教育現場ですので児童の皆さん本当に楽しくお勉強させ

ていただいて、何をやるかといったら環境の勉強ですけど、夏休み期間中に家庭で家族の皆さんと一緒に協力いただき省エネの取組みをいっぱいしていただいて、夏休み明けにこんな取り組みをしたということを報告していただきました。富山環境財団と町民課、推進委員の方で連携してやっているんですけど、すごく印象的だったのが、ご家族の皆さんが本当に細かくコメントを書いていただいて、資料にも、家庭教育力、学習習慣の向上という項目があったと思うのですが、まだちょっと数字的には課題があるのかも知ませんが非常に協力的な家庭が多くて、学校の課題だけでなく、よりよりよく生きるためにこうしたっていう学ぶ楽しみとか目的というものを、皆で、家族で共有できたのは本当に良かったなと思ってますし、学ぶ力・生きる力が皆さん身についたのかなと、そういう機会を私もいただけたことがありがたいと思ったのと、学校の先生方が、また、家庭のお家の皆さんが、子どもをすごく健やかに育む姿勢が伝わってきて、ああ、上市はいいなと思いました。

それに関連して教育に関して一つお話しすると、上市高校がキャリア教育ということで一生懸命取り組んでおられると聞いています。ここで男女共同参画がちょっと関わってくるんですけど、女性の若年層の転出がすごく多いということで、県で施策を出して一生懸命取り組んでおられますけど、富山に限らず静岡などでも本当に若い女性が出て行ってしまっていて、大変なんですけど、上市高校の提言は非常に素晴らしいものがあるなと思って、ここにはちゃんと、働く場所があるし、進学指導にとどまらず、キャリア・進路をちゃんと、教育していくことが大事だということを高校並びに義務教育でもまたしっかり取り組んでいただけるとありがたいなと思いながらこの総合計画の冊子を拝見しておりました。

義務教育ではふるさと学習の益々の充実、子ども達にはあなたを支えてくれている人がたくさんいるということ、上市町は全力であなたのことを応援しているということをしっかり伝えていただいたら益々上市に愛情をもって子供たちが留まってくれるのではないかと期待を持って今のご説明を聞いておりました。

事務局 温室効果ガスの削減について、資料3の5ページ右下の部分にグラフが載っていますが、昨年計画策定をしております、町でどれだけの二酸化炭素を出しているかを出し、2050年、国で持っている情報数値を実質ゼロにするということで、2030年2040年に段階的に減らす量を出しています。昨年、その量が決まったところで、直近の2030年に減らす量を今年度区域施策編として作っている最中です。実際に町民の方がどういことをしないといけないとか、企業さんがこういうこととてくださいとか、行政は太陽光パネル並べるなどして温室効果ガスを減らすなどという内容の計画を策定中です。

委員 CO2排出量は、企業は報告義務があるのか。企業からはCO2が出るのですが、一般家庭からは出ませんよね。

事務局 一般家庭からは、実際にごみとかを減らすことによって、CO2を減らすということで、今年、昨年の生ごみ処理機の補助金などを出しています。

委員 全体で生ゴミ減らしたらとありますけど、それは生ゴミをCO2に換算しているということですか。

事務局 そうです。また、家庭ではLED化ですね、節電対策。ペアガラス等でエネルギーの消費量を減らす取り組みが必要と思います。

委員 これを、家庭に依頼するにはやっぱり、何らかのインセンティブを与えてやらないと。お金出すのは各戸なのでその辺インセンティブをどうするかっていうのをやっぱり考えていただいて、取り組んでいただければなと思います。

事務局 おっしゃるとおりだと思います。

事務局 補足ですが、このゼロカーボンの、温室効果ガスの削減にあたっては、国際大の先生の話も聞いておりましたら、まずは今言ったような対策もそうなんですけど、例えばエアコンや冷蔵庫などの新しいものへの買い替えみたいなどころでの省エネ化もできると。そのようなことも実はすごく効果としては高いようなお話をしておられます。それから一番分かりやすいのは車で、今までガソリン車だったものをEVに変えとか、家庭でしたらオール電化にするといったことも全部、温室効果ガスの削減という意味では繋がるようでして、今言ったような省エネ関連の推進に関しては、国でも一部補助金を作っておられたりもしますので、私達もどこまでできるか分からないのですが、二酸化炭素の削減には色々なものが要素としては入っていると聞いております。

委員 今年度商工会女性部では、YUKATA-PHOTO プロジェクトという外国人向けのイベントを行いました。学生さんや町で働いている外国人女性をお招きして浴衣を着せてあげて、眼目山立山寺の梅並木や大岩で撮影を行い、ゲストハウス松月では上市高校生の茶道部に来ていただいてお茶のお手前を披露していただき、茶房体験をしていただきました。外国の方に、上市町の豊かな自然に触れ合ってもらって、日本の文化を体験したことで、自国の友人や家族にSNSのフェイスブックとかInstagramで情報を発信していただき、上市町への関心度を高めてもらい、インバウンド効果を期待して行いました。帰りに着られた浴衣一式をお土産として差し上げましたところ、とても大喜びして帰られました。

8月には先ほど話がありました、移住者と特産品ということで、東洋大学の留学生の皆様方と、町の竹取キッチン、中学生、高校生を交えて、町の特産品を使ってお互いの出身国の料理を作っていたり、食事をしながらそれぞれの魅力をアピールし、また、お互いを認め合いながら交流させていただきました。女性部では、グリーンカレーを作らせていただきました。また、10月には熊野町の空き家で、一階がサテライトオフィス、二階がゲストハウスの古民家metateがオープンします。総合計画の指標では、誘致企業数の進捗率が100%、事業承継支援件数の進捗率も70%で、町では空き家、空き店舗の再利用にしても多種多様のすばらしい企画を実施されており、これからの上市町のにぎわいづくり、活性化を期待しております。もちろん私たちも精一杯力を注ぎたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員 冒頭に副町長から人口減少の話がありました。その中で人口の社会増減ゼロを目指しているということで、マイナス4という実績はすごいことだなと思う。今年の春、消滅可能性自治体という中で、南砺市、氷見市、入善町、朝日町、残念ながら上市町も入っていて、若い女性の方が特に減っているというところが問題だという指摘がニュースでも取り上げられています。その中で、どこの市町村もやっぱり人口減少っていうのは大きな問題、課題である中、ここ数日のニュースでも、一極集中の東京都でさえ保育園第一子無料にするというニュースが出ています。その中で上市町も今後どうしていくのかということが非常にある中、コロナ禍で出会いが制限され、さらに働き方改革で接点が少なくなっていく。その中で、先ほどSDG s 等色々なお話あった中で、どこの市町村もSDG s や戦略会議というのは当然行われているわけですね。だから、同じようなことやっていてもなかなかという気はしています。

その中で、空き家バンク、フォトロゲ、ポーカールー、ふるさと納税、目新しいことが、最近上市町でやっているってことは、非常にニュースで見たときに、ワクワクしてすごいなと思っています。特に魚津市の空き家バンクと、上市でも全然中身が違ってしますし、本当に考えられた戦略を考えていただいているなんてことは本当に感謝したいなと思っていますし、引き続きやっていただきたいなとも思っています。

先週、出張等で長崎の方行きまして、五島列島に行きました。約4万人だったのが今3万人弱に減ってきていて、毎年700人減っていると。小中高一貫校という中もありますしその中でやはり学校をどう活かすか、人をどう増やすかという中で、引きこもりの子達をみている学校だとか、あとそこでは農業ですね、畜産だけの学校をやって人口を増やしているっていうところもあったので、今上市高校もそうですけども、特色あるというところをどういうふうに出すかというところが、非常に求められる時代に來たのだらうなと思います。

差別化という意味でも、企業にとってもそうですけども、ただ、今上市町は小学校中学校、老朽化それから耐震、それから子供の減少ということで、小中の一貫教育という動きが出てきています。その中で、このマイナスをどうやってプラスに変えるか、小学校中学校がなければ当然そこに人口というのは定着するかというと、また流出が始まると。ただ、このマイナスをどういうふうにプラスに変えるかっていうことを、地元の人達、それから、当然役所の人もそうですけど、そこで働く人達それから企業、当然人口が減れば企業の成り立ちも、変わってくるので、みんなで一体となって、他人事じゃないんだという雰囲気をつくり出して作るかっていうのも、今後必要かなと思っています。

なので、スピードに飲まれない、町民一体化の会議をもっともっと増やせばいいのかなあと考えていますので、引き続きこういった斬新な事をもっともっていただくと、本当うれしいなと思っていますので、また何かできることがあればお声掛けいただければと思います。

委員 私の方からは、社協で行っております結婚相談、これもね、子供が増えるというか、いわゆる人口増に向けての問題かなと思っています。今、結婚相談員の方が5名おられます。令和4年度では259件の相談があり、令和5年度では234件になりました。成立は令和4年度では5組、令和5年度では7組です。登録者数が圧倒的に男性が多いんですよ。私たちの若い時と比べて、出会いの場というのが本当に少ないんじゃないかなと。例えば、非正規職員

や食べていくだけのアルバイトで、もう一生懸命働かないと結婚するのもっていう話なのか、それとも1人で生活していけばいいというのか、それはちょっとわかりませんが、結婚相談ももっと充実していくか、或いは役場からの事業で婚活イベントも年2回でしたか開催していますけど、応募数はあるんですよね。でもこれで何かうまくまとまっていけばいいなと。今後とも社協としましては、役場との事業の連携を深めていきたいと思っています。

もう一つ、実は私も昨年まで町内会長をやっていたので、まず役員のなり手がいないんです。今年の会合でも、何とか町内から上市町を盛り上げていったらと思うがどうしたらいいかという議論もありました。でも、どうすれば盛り上げていけるのか分からないというところに落ち着いたのですけど。何とか役場で皆さんの知恵を借りて活性化するため、役員のなり手の関係、そういった部分、またいろいろ議論していただいて教えていただければという考えでいます。ちょっと町からの活性化に向けて、何とか努力していきたいという風に考えています。

委員 町内会の話が出ましたが、私も経験がありますけど、やっぱり役員、世話をする人がなかなかいないということでもう本当にやっている方は大変な目にあっておられるなど実感していますし、今年から老人会の世話も頼まれてやっているんですが、各町内の高齢者は多くなっていると思うんですけど、老人会そのものは減ってきているという状況でちょっとびっくりしたんです。それもよく聞いてみると、会長をしたくないとか、会計をしたくないとか何か色々なことで抜けてく方が多いということを目にしたのですが、私事ではありますけど、今後どうなっていくのか心配しているところであります。

会議終了の予定時間となったため、議長は意見徴収を終了とし、発言できなかった意見については事務局の企画課へ提出するよう委員へ求めた。議長は活発な審議と円滑な議事進行への協力について委員へ感謝の言葉を述べ、議事を終了し、進行を司会へ戻した。

6 その他、閉会

事務局は、配付資料4により、上市町第8次総合計画後期基本計画及び第3期まちひとしごと創生総合戦略の策定について説明し、来年度も今年度と同様に各団体から来年度の審議委員を選出してもらえよう協力を依頼した。

司会者は、以上をもって次第を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。